

令和5年度第6回社会教育委員の会議

令和5年11月16日（木）午前10時から
市役所第二庁舎 8階・801会議室

次 第

1 議題

- (1) 会議録の承認について
- (2) 第32期社会教育委員の会議で取り扱うテーマについて
- (3) 三者合同研修会について
- (4) その他

2 報告

- (1) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会第5ブロック研修会について
- (2) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会について
- (3) 令和5年度二十歳を祝う会について
- (4) その他

3 資料

- (1) 令和5年度第5回社会教育委員の会議会議録 【資料1】
- (2) 第4次小金井市生涯学習推進計画概要版 【資料2】
- (3) 第4次小金井市生涯学習推進計画進捗状況 【資料3】
- (4) 三者合同研修会開催通知（案） 【資料4】
- (5) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会第5ブロック研修会報告 【資料5】
- (6) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会開催通知 【資料6】
- (7) 令和5年度二十歳を祝う会の実施について 【資料7】
- (8) 令和5年度社会教育委員の会議等日程 【資料8】

次回の会議日程：第7回社会協委員の会議（三者合同研修会）

令和5年1月31日（水）午後1時30分から
市民会館（萌え木ホール）3階A会議室

令和5年度第5回社会教育委員の会議

令和5年10月6日(金)

午前10時00分開会

開催日時	令和5年10月6日	開会10時00分 閉会11時00分	
場 所	小金井市役所西庁舎2階 第五会議室		
出席委員	議 長 笹井 宏益 副 議 長 金澤 大恵 委 員 伊藤 安寿華 委 員 榎本 敏 委 員 北澤 隆司	委 員 國分 ひろみ 委 員 森本 榮子 委 員 小林 浩 委 員 坂野 勝一	
説明のため出席した者の職氏名	教育長 大熊 雅士 生涯学習部長 梅原 啓太郎 生涯学習課長 三浦 真	図書館長 内田 雄介 公民館長 鈴木 遵矢	
事務局	生涯学習係長 倉澤 淳子		
傍聴者人数	0人		

日程	議 題	
第1	協 議 事 項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 正副議長の互選について (2) 社会教育委員会の会議について (3) 図書館協議会への出向委員の選任について (4) 放課後子どもプラン運営委員への出向委員の選任について (5) 東京都市町村会教育連絡協議会第5ブロック研修会について (6) 全国大会等に参加する団体への補助金交付について (7) 第31期小金井市社会教育委員の会議のまとめ (8) 会議録の承認について (9) 会議の日程について (10) その他
第2	報 告 事 項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 第37期公民館運営審議会委員の委嘱について (2) その他

三浦生涯学習課長 皆さん、おはようございます。定刻でございますので、会議を始めさせていただきますと思います。

まず、私は生涯学習課長の三浦と申します。当座の間、司会進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。この後ですが、申し訳ありません、着座のまま失礼させていただきます。

本日は初めての委員会ということでございますので、セレモニー的な議題が多くございますけども、1時間ないし1時間半ぐらいで終わればなと思っております。どうかよろしく願いいたします。

本日、黒木委員につきましては、ほかの御予定もございまして、國分委員からも、所用のため、11時頃をめぐりに中座させていただきたいというお話がございましたので、あらかじめ皆様に御報告を申し上げます。

それでは初めに、辞令の交付から進めさせていただきますと思います。教育長が順番に皆様のお席に伺ってまいりますので、恐れ入りますが、順番になりましたら、御起立いただいて、辞令をお受け取りください。

では、教育長、お願いいたします。

大熊教育長 委嘱状。伊藤安寿華様。小金井市社会教育委員を委嘱する。期間、令和5年9月9日から令和7年9月8日まで。令和5年9月8日、小金井市教育委員会。

よろしく申し上げます。

伊藤委員 よろしく申し上げます。(拍手)

大熊教育長 委嘱状。榎本敏様。以下同文でございます。よろしく願いいたします。

榎本委員 よろしく願いいたします。(拍手)

大熊教育長 委嘱状。金澤大恵様。以下同文でございます。

よろしくお願いいたします。

金澤委員 よろしくお願いいたします。(拍手)

大熊教育長 委嘱状。北澤隆司様。よろしくお願いいたします。

北澤委員 よろしくお願いいたします。(拍手)

大熊教育長 委嘱状。國分ひろみ様。よろしくお願いいたします。

國分委員 よろしくお願いいたします。(拍手)

大熊教育長 委嘱状。小林浩様。よろしくお願いいたします。

小林委員 よろしくお願いいたします。(拍手)

大熊教育長 委嘱状。坂野勝一様。よろしくお願いいたします。

坂野委員 よろしくお願いいたします。(拍手)

大熊教育長 委嘱状。笹井宏益様。よろしくお願いいたします。

笹井委員 よろしくお願いいたします。(拍手)

大熊教育長 委嘱状。森本榮子様。よろしくお願いいたします。

森本委員 よろしくお願いいたします。(拍手)

三浦生涯学習課長 ありがとうございました。

冒頭、私のほうで、黒木委員は中座と申し上げましたが、本日は御欠席でございます。訂正させていただきます。

それでは、教育長から一言御挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

大熊教育長 本日から小金井市の社会教育委員をお引き受けいただきまして、

誠にありがとうございます。

社会教育委員の職責は、小金井市の社会教育を進める上で最も重要な会議と私どもは位置づけております。どうぞ、2年間になりますが、よろしく願いいたします。

その会議を始めるに当たって、一言だけ、目標というか、こんなことを考えているんだということを共有させていただきたいと思っております。

混迷する社会の中で、これからの社会教育をしっかり進めていくことが本当に大事であると考えておりますが、何を目標にして進めていくかがまず大事かと思っております。皆さんに検討していただきたいことなんですけれども、私自身は、市民一人一人の100年後のウェルビーイングを目標にして活動をしていただきたいと思っております。混迷する社会の中で、今の幸せではなくて100年後の幸せを考えて、今何をしなきゃいけないかを考えていかなければいけないと思うんです。人生100年時代にもじったわけではないんですけれども、高齢化が進むことや、少子化が進むことや、それから昔は退職したらのんびり過ごすことにはなったと思うんですけど、最近は第2の人生と本当に言われていて、そこを充実することが、その人の本当の幸せにつながることも考えられることです。そうすると、今の幸せではなくて、やはり、これからずっと永遠にという意味で、市民一人一人のウェルビーイングを担保するためには何が必要なのかという点を常に考えていただきたいと思っております。

そのためには、100年後なんですけれども、現在の市民を真ん中にして、これまでの小金井の社会教育の伝統を守るだけではなく、新しい社会教育を進めるための羅針盤になっていただきたいと考えます。その際、このやり方は古い、これを新しくしないと、という羅針盤ではなく、そのようなことを言って非難をする社会教育委員ではなく、現状を非難するのではなく、共に語り、共に動く。とにかく一緒に歩む社会教育委員になってもらいたいと思っております。なぜかという、これまで伝統を守りながら、長い間やってきた社会教育はしっかりと小金井に根付いております。しかし、一つ例を挙げますと、子供一人一人の人権を守るために子供の声を聞くことも非常に大事に言われてきました。しかしながら、今行われている子供に対しての様々な活動は子供を真ん中に置いているのでしょうか。大人が全部準備して、準備した運動会に子供たちが遊びに来る。こ

れで子供たちが、未来の子供たちが、そういうことだけで生きていけるかどうか。子供も一緒になって考えることが必要だと思うんです。どんな運動会にしたいのか。答えのない問いに子供たちをどっぷり浸からせることが、これから大事になってくるんだと思います。しかし、しかしですよ、これから子供を真ん中に置いて子供も参画させるんだと言っただけでは、今まで伝統を持っていた人は混乱するだけで、そんなことを言うんだったら、あなた、やりなよと言われておしまいだと思います。だから、そうではなくて、これからの子供、つまり100年後の市民一人一人の幸せを考えたとき、どういうふうに子供と関わったらいいかを共に語り、共に動いていただきたいんです。そうでなかったら、この町は変わらないと思っています。

それ以外にも、今、子供の話をしましたけれど、生涯学習はどうでしょうか。生涯学習をやって、公民館活動は、この近隣市にしても最も豊かな活動が行われています。だけど、特定の人たちがその場所を占有しているだけで、多くの人たちに来てもらう扉が開いていない。そうすると、その人たちがどんだん年を取って行って、最後は2人だけで将棋をやっている。その人が子供に教えたらどのぐらいいいのかわかるか。若い人にその力を発揮してあげたらどのぐらいいいのかわかるか。そういうところを少しずつ開いて行ってあげる。でも、急は駄目だと思うんですけど、もったいないと思うんです。そういうことをどうやったら、より多くの人たちが今ある小金井の豊かな社会教育に触れて、よりよいウェルビーイングですね。継続的な幸せと言ったらいいでしょうか。何々に優勝して、わーいということではなくて、ずうっと続く幸せ。そういうことを目指して活動を進められるように、私も一緒に語り、共に動く一員として関わっていきたいと思いますので、皆さんも、そのことについて議論して、一緒に歩んでいただきたいと。そんなふうに思いますので、どうかよろしく願いいたします。以上です。(拍手)

三浦生涯学習課長 ありがとうございます。

大変申し訳ありません。本日、教育長は他の公務日程がございまして、ここで失礼をさせていただきます。

大熊教育長 これから教育委員の研修会があつて、そちらに向かわなければい

けないんです。すみません。また、よろしく願いいたします。

委員一同 よろしく願いいたします。

三浦生涯学習課長 それでは引き続き、事務局の自己紹介をさせていただきたいと思
います。

初めに生涯学習部長の梅原でございます。

梅原生涯学習部長 生涯学習部長の梅原です。よろしく願いいたします。

三浦生涯学習課長 続きまして、図書館長の内田でございます。

内田図書館長 図書館長の内田です。よろしく願いします。

三浦生涯学習課長 それから、公民館長の鈴木でございます。

鈴木公民館長 公民館長の鈴木です。よろしく願いいたします。

三浦生涯学習課長 事務局を担当します倉澤でございます。

倉澤生涯学習係長 生涯学習係長の倉澤と申します。よろしく願いいたします。

三浦生涯学習課長 よろしく願いをいたします。

それでは、いきなりなんですけども、伊藤委員から自己紹介をお
願いしていいですか。

伊藤委員 はい。

三浦生涯学習課長 では、伊藤委員から北澤委員、國分委員から森本委員という順
番でお願いしたいと思しますので、どうぞよろしく願いします。

伊藤委員 伊藤安寿華と申します。今、小金井二中のPTAの役員をやっ
ております。よろしく願いいたします。(拍手)

榎本委員 榎本といいます。今、スポーツ少年団の本部長、それから体協も。

これは体育協会から派遣されてきました。よろしくお願いします。
(拍手)

金澤委員 金澤大恵と申します。小金井市文化連盟から推薦で参りました。
2期目となりますが、どうぞ、よろしくお願いいたします。(拍手)

北澤委員 北澤隆司です。小金井市の登録手話通訳者連絡会から推薦されて、
今期2期目となります。よろしくお願いいたします。(拍手)

國分委員 國分ひろみです。小金井稲門会から来ました。ここは早稲田大学の
のOB会の組織で、小金井地区の会です。それで当会は63年、組
織してからたっておりまして、50周年のときに、地域の方と関わ
る部分というか、そういうのをやるべきだということで、公開事業と
いうことで立ち上げたのが市民の公開講座と美術作品展です。継続
して今、十数回やっております、そうした切り口しか、今のところ
はありませんが、社会教育に関する行政の活動、目標などについて
学ばせていただき、視野を広げていきたいと思っております。よ
ろしくお願いします。(拍手)

小林委員 小林です。よろしくお願いします。今、会社員をまだやっている
んですけど、週末におやじの会で、子供たちと大人の方も含めて多
世代交流で水鉄砲合戦をやったり、ちゃんばらをやったりというの
をやりつつ、中学校で放課後カフェというのも立ち上げてやってお
ります。あと、市のほうでは健全育成のほうを、ずっと十何年、P
TA会長をやったのがきっかけでやっているぐらいで、今、自分の
テーマとしては、子供たち、特に高学年から中学生と地域の大人を
顔見知りにすることを目標にしています。今度は三小の体育館をお
借りして、何もしない合宿というのをやる予定で、そのときに、お
じさんの失敗談を聞いてくれというコーナーをつくります。そうい
うことをやっています。ただ、中学生が今、大人と出会ってないので、
習い事と自分の親、学校の先生ぐらいなんですね。地域の大人
と会って、人生のロールモデルをもうちょっと探るみたいなことが
できないかなということを今、テーマでやっています。

すみません。長くなりました、よろしくお願いします。(拍手)

坂野委員 坂野でございます。よろしくお願いいたします。この会議では社会で新しく起こっているいろいろな課題・問題について、様々な市民生活の観点から話し合うことを期待し、楽しみにしております。また、私はこれまでに小金井市の4つの会合で委員として参加してきました。図書館協議会、市民交流センター運営協議会、新福祉会館管理運営計画策定委員会、それから新庁舎の設計に係るかがねいミーティングの4会合ですが、合わせて延べ約10年間、市民の実際生活の環境整備あるいは環境醸成の論点を検討してきましたので、社会教育に関連する範囲で、それらを参考にしたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。（拍手）

笹井委員 玉川大学の笹井といいます。名簿上、学校法人玉川学園というんですけども、学校法人の中の玉川大学に勤めています。今、特任教授という役職なんですけど、その前は実は文科省附属の研究所で、ずっと生涯学習、社会教育を勉強してきました。ですので、あまり現場に行って実践するよりは、むしろ全国、どんな感じの活動があって、これが大事なんだよなみたいなことを勉強してきました。まだまだなんですけど、本当に微力ながらですけども、小金井の社会教育に御協力できればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。（拍手）

森本委員 笹井さんが御起立なさいましたので私も。皆さんに顔を覚えていただきたいと思います。

森本榮子と申します。今期で、こちらに参加させていただいておりまして、3期目でございます。よろしくお願いいたします。（拍手）

三浦生涯学習課長 ありがとうございます。

それでは、議題（1）の「正副議長の互選について」になりますが、ここから先は生涯学習部長に議事を進めていただきたいと思いますので、お願いいたします。

梅原生涯学習部長 それでは、議長が選出されるまでの間、私が仮の議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

議事に入ります前に、議事録の作成方法について確認をさせていただきます。市の会議につきましては、小金井市市民参加条例第6

条の規程により、原則公開となっております。また条例施行規則第5条には、会議録の作成方法として、全文記録、発言者の発言内容ごとの要点記録、会議内容の要点記録の3つの中から選択することとされております。本社会教育委員の会議につきましては、これまで全文記録で会議録を作成しております。事務局といたしましては、引き続き全文記録で作成をしたいと考えておりますが、御異議はございませんでしょうか。(拍手)

よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは御異議がないということでございますので、そのようにさせていただきます。

なお、議事録作成の都合上、御発言の前には、お名前をおっしゃっていただいてから発言をお願いいたしたいと思っております。

それでは議事に移らせていただきます。初めに議長の互選を行います。議長につきましては、社会教育委員の会議規則第2条の規定により、委員の互選によって定めるものとされております。指名推選の方法で行いたいと思っておりますが、これに御異議はございませんか。(異議なしの声。拍手)

よろしいでしょうか。御異議なしと認めます。

それでは、どなたかから御推薦いただけますでしょうか。

金澤委員、よろしく願いいたします。

金澤委員 金澤です。議長に笹井宏益委員を推薦させていただきたいと思っておりますが、皆様、いかがでしょうか。

梅原生涯学習部長 ただいま、金澤委員から笹井委員を御推薦いただきました。これに御異議はございませんでしょうか。

(拍手)

梅原生涯学習部長 それでは、笹井委員に議長をお願いいたしまして、これより先の議事進行につきましては笹井委員をお願いしたいと思います。

笹井委員、議長席へお願いいたします。

それでは、私の職務は以上とさせていただきます。ありがとうございました。

笹井議長 ただいま議長を拝命いたしました笹井です。改めてよろしくお願い申し上げます。

では早速ですけれども、副議長さんの互選を行いたいと思っております。

副議長についても、社会教育委員の会議規則第2条の規定により、委員の互選となっております。どなたか立候補あるいは御推薦はありますでしょうか。ありましたら、ぜひお願いしたいと思います。

北澤委員 北澤です。前期からの継続ということで、私がやりたいところではあるんですけども、ここは金澤委員を推薦したいと思います。

笹井議長 ただいま北澤議員から金澤委員を御推薦いただきました。これに御異議はございませんでしょうか。(異議なしの声。拍手)
よろしいですか。

小林委員 ジェンダー的な観点からもいいんじゃないかと思います。(拍手)

笹井議長 ありがとうございます。
それでは、金澤委員、副議長席に御移動をお願いいたします。
それでは、金澤委員、一言お願いします。

金澤副議長 改めまして、金澤と申します。このような形で北澤委員に御推薦いただき、そして委員の皆様にも拍手をいただきまして、ありがとうございます。1年間、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくをお願いいたします。(拍手)

笹井議長 ありがとうございます。
それでは議事次第に沿って進めていきたいと思います。
議題(2)で「社会教育委員の会議について」と書いてありますが、事務局から御説明をお願いいたします。

倉澤生涯学習係長 事務局より御説明いたします。

議題(2)に入ります前に、まず配付資料を確認させていただきたいと思います。配付資料の1番目が、ホチキス留めになっておりますが、本日の会議次第。その後、資料1から10まで綴じてございます。続きまして、委員の皆様だけに配付しているものとしまして「社会教育情報」と「月刊公民館」、あと新規の委員の皆様へ第4次生涯学習推進計画の冊子をお配りしてございます。不足のある方はいらっしゃいますでしょうか。

では続いて、資料2の御説明に入ります。

榎本委員 外の音がちょっとするんですけど、大丈夫ですか。

倉澤生涯学習係長 失礼いたしました。

では、2ページめくっていただきまして、資料2を御覧ください。こちらで小金井市社会教育委員の会議について簡単に御説明させていただきます。

「1 社会教育委員とは」ということで、先ほど教育長よりも説明をしていただきましたので簡単に御案内いたします。こちらは文部科学省のホームページより抜粋させていただいております。社会教育委員は社会教育法に規定されておりまして、社会教育に関する計画の立案やその他研究を行うなどによって、社会教育に関して教育委員会に助言をする役割を果たしています。皆様、地域において社会教育に優れた知見を有する皆様の知識を社会教育行政に反映させていただくことが期待されているとなっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして2番でございます。皆様の御身分は非常勤の特別職の公務員という位置づけになります。社会教育委員の本日のような会議の出席に対しまして日額1万円、こちらは源泉徴収を差し引いた金額を口座にお振り込みいたします。公務で出張等に行っていた場合は、こちらの交通費も同じく口座振込みでお支払いいたします。続きまして、社会教育委員は原則3期まで務めることができます。1期当たり2年間となっておりますので、最長で6年間、務めることができるとなっております。小金井市が持っている審議会等の委員は原則2つまで兼ねることができるとなっております。

続きまして3番目です。任期中の主な活動内容としましては、こういった社会教育委員の皆様に集まっていただく会議が年8回、こちらは基本、毎月1回なのですが、6月、9月、12月、3月は市議会が開催されるため、社会教育委員の会議を行いません。その年8回の会議のうち、1度はマイクロバス等を借り上げまして、他市の社会教育施設等の見学に行くことがございます。もう一回は、後ほど簡単に御説明いたしますが、公民館運営審議会委員、図書館協議会委員の方々と合同で研修会を予定しております。こちらを含んで年8回となっております。

続きまして②です。後ほど議題にも挙げさせていただいておりますが、図書館協議会と放課後子どもプラン運営委員会に社会教育委員各1名に出向して出席していただいております。

③ですが、東京都市町村社会教育委員連絡協議会というものが上部の組織でございまして、名称が長いので今後、都市社連協と呼ばせていただきます。こちらの各種研修会、総会等に参加していただいております。今年度の開催案内が11月のブロック研修会が来ております。後ほど出席の確認等をさせていただきたいと思っております。

④で、さらに上部の組織で、関東甲信越静の研究大会への参加がございまして、こちらは予算の関係上、毎年2名分の旅費等を計上しております。令和5年度は栃木大会となっております。参加回数の少ない方を優先して参加委員を決定させていただいております。

1枚めくっていただきまして、4番目です。小金井市社会教育委員の会議と関係のある団体ということで、先ほども御説明した都市社連協ですね。多摩地区の26市と3町が会員となって組織しております社会教育委員の協議会です。各種研修会等をしております。構成自治体が多いため、ブロックごとに分かれております。小金井市は第5ブロックに所属してございまして、本市と武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、狛江市、こちらで第5ブロックを構成しております。そしてさらに小金井市は本年度と令和6年度は、全体の都市社連協の副会長市に当たってございまして、2年間、副会長市を務めた後の令和7年度は会長市と決まっておりますので、委員の皆様にはいろいろ御協力いただくことがあると思いますが、よろしく願いいたします。

続きまして関係のある団体ということで、先ほど申しましたが、同じく生涯学習に関わる協議会ですね。図書館協議会と公民館運営審議会は今後、3者合同研修会等で交流もあるかと思っております。年1回開催する会は持ち回り制となっております。ちょうど今年度は社会教育委員の会議、こちらが研修会の担当となっておりますので、またテーマ等について、こちらの会議で議題に挙げさせていただきたいと思っております。

その後は、これまでの答申・提言一覧と関係する関係法令等をまとめておりますので、お時間のあるときにお読みいただければと思います。

議題（２）の説明については以上です。

笹井議長 ありがとうございます。ただいまの御説明について、もし質問等がございましたら、お願いします。

 我々の職務や役割について分かりやすく説明をいただいたと思いますが、よろしいでしょうか。どうぞ。

小林委員 小林です。3者合同研修会なんですけど、これは何か予算とか、その辺は。研修するに当たって例えば講師を呼ぶとか。

倉澤生涯学習係長 申し訳ございません。講師の予算はついてございません。

小林委員 分かりました。了解です。

笹井議長 ほかにございますか。よろしいでしょうか。もし後で気がついたときにはその都度、また質問していただければと思います。よろしくお願いします。

 それでは次の議題（３）に移ります。「図書館協議会への出向委員の選任について」ということで、まず事務局から御説明をお願いいたします。

三浦生涯学習課長 生涯学習課長です。それでは、お手元の資料3を御覧ください。

 第18期小金井市図書館協議会委員の推薦についての依頼が来てございます。任期につきましては令和5年11月1日から令和7年10月31日までの2年間となっておりまして、年間4回の会議を予定してございます。

 社会教育委員さんと兼ねていただくこととなりますので、先ほど御説明がありましたが、既に社会教育委員以外の会議で審議会等の委員さんをやられている場合は、委員さんとしては、なかなかないところなんですけど、本日、図書館協議会についても参加してみたいという御要望というか、立候補がありましたら、お願いをいたしたいと思いますが、皆様、いかがでしょうか。

笹井議長 ということですが、どなたか、やってみたいという方がいらっしゃいましたら。

小林委員 すみません。できましたら、放課後子どもプランの回数が何回かとか、両方を見た上でないと検討しづらいのではないかと思いますんですけど、いかがでしょうか。

三浦生涯学習課長 分かりました。では、議長、すみません。4番についても次第のほうで進めさせていただいてよろしいですか。

笹井議長 お願いいたします。

三浦生涯学習課長 それでは、放課後子どもプランの委員さんについてでございます。次第の(4)になりますが、こちらのほうも推薦依頼が来てございます。資料4を御覧ください。

 小金井市放課後子どもプラン運営委員会設置要綱の第3条において、社会教育委員を委員とすると定めてございます。設置の目的及び所掌事項につきましては要綱を後ほど御覧いただければと思います。任期につきましては令和6年3月末までとなっております。今年度につきましては年2回程度の会議を予定してございます。こちらも社会教育委員と兼ねていただくこととなりますので、既にほかの委員会で審議会等の委員をなされている場合は、委員としてはできませんので、御了解いただければと思います。

 図書館協議会員、それから放課後子どもプラン運営委員会委員につきまして説明させていただきました。もしこの場で、やってみたいという方がいらっしゃれば、立候補というか、挙手をお願いできればと思います。

笹井議長 ということですが、いかがでしょうか。

小林委員 伊藤さんがもしやらなければ、僕は放課後をやってみたいかと思っているんですけど。

伊藤委員 私は他の委員をお受けしておりますので、できません。

小林委員 分かりました。では、放課後を希望します。ほかにもいらっしゃったらお譲りしますけど。

笹井議長 では、放課後は小林委員でと思いますが、ほかにどなたかご希望は。

三浦生涯学習課長 ほかの委員は兼ねていませんか。

小林委員 児童館はもうクビになっているはずなので。児童館はたしか終わっているはずだと思います。

三浦生涯学習課長 はい。ちょっと確認させていただきます。委員会がダブってもまずいので。

小林委員 たしか終わっているはずだと思います。

笹井議長 ということで、ほかに立候補される方がいらっしゃらなければ。

倉澤生涯学習係長 小林委員は学校運営協議会の委員でいらっしゃるって伺っていますが。

小林委員 あ、すみません。あれも入っちゃうんですか。すみません。じゃ、駄目です。学校運営協議会に。

笹井議長 その委員になっていらっしゃるんですか。

小林委員 はい。中学校とか、三小の。あれも入るんですね。
分かりました。じゃ、すみません。ギブアップです。

笹井議長 ありがとうございます。そういうことで、申し訳ありませんが、今回は御遠慮いただきたいと思いますが。

どなたか、希望される、立候補される委員の方がいらっしゃれば。今ここで。いかがですか。

図書館協議会の委員のほうはいかがですか。ちょっと興味があるけどみたいな人がいらっしゃればと思いますが、いかがですか。

なかなかね。いきなり……。

課長、お願いします。

三浦生涯学習課長 議長、すみません。ということで、本日、この委員会も初めてございまして、皆さんも初対面でもあろうかと思imasるので、なかなか新たな委員をお受けいただくことも、この場では難しいかなと思っております。したがって、よろしければ別途、事務局で調整させていただいて、各委員さんに御連絡することがあるかもしれませんが、そんな形で調整させていただいて、結果につきましては、次回の社会教育委員の会議の中で御報告をさせていただきたいと思imasますが、そんな形で皆様、いかがでしょうか。議長、よろしいでしょうか。

笹井議長 はい。ということで、よろしくお願ひしたいと思imas。

それでは続きまして、議題の5番目になります。「東京都市町村社会教育連絡協議会第5ブロック研修会について」ですけど、説明をお願いします。

倉澤生涯学習係長 事務局です。御説明いたします。資料5を御覧ください。

第5ブロックの会長市であります三鷹市の社会教育委員の会議の会長より、研修会についての御案内が来ております。こちらは土曜日の開催となってしまふのですが、日時が令和5年11月11日の土曜日の午後2時から4時30分まで。会場は裏面のとおり、三鷹市の三鷹産業プラザ。テーマ等はお案内のとおりとなっております。

現時点で出欠が分かっていらっしゃる方がいたら、本日、出欠を取らせていただきたいと思imas。すぐにご予定がわからない方については、後ほど御連絡という形で出欠を取らせていただきたければと思imas。

説明は以上です。

笹井議長 ありがとうございます。

それでは今現在、出席する御予定というか、おつもりだという方はいらっしゃるますか。挙手をお願ひしたいと思imasが、いかがですか。

私だけ？ どなたか、ほかにいらっしゃるますか。

す。

資料の目的にございますように、優秀な成績を収めた優れた団体の負担を軽減し、健全な団体を育成し、積極的な活動を支援するために行っているものでして、学校の部活動や、その他、大きな大会に出るときの補助と同様に、学校外で活動している競技団体が全国大会等の大きな大会に出るときの費用負担を考慮したものでございます。

説明は以上です。

笹井議長 ありがとうございました。これはこういう報告を受けたということですね。

倉澤生涯学習係長 そうです。

笹井議長 分かりました。
今、歴史的な円安で、すごい海外へ行くのも大変だと思うんです。でも、教育的にはとてもいいことだと思うので、ぜひにと思います。ありがとうございました。

倉澤生涯学習係長 では、承認していただいたということで。

笹井議長 あ、承認ということなの。

倉澤生涯学習係長 そうですね。

笹井議長 じゃ、承認していただくことでよろしいですか。

倉澤生涯学習係長 ありがとうございます。

笹井議長 ということで、続きまして、議題（7）に移りたいと思います。
「第31期小金井市社会教育委員の会議のまとめ」についてでございます。事務局から御説明をお願いします。

三浦生涯学習課長 資料7ですね。資料7「第31期小金井市社会教育委員の会議のまとめ」を御覧ください。

こちらは第31期、今回の1期前の会議の方々、正副議長を中心に作成をいただいたものでございます。本来であれば、前期の議長さん、もしくは副議長さんから御説明いただくところでございますが、お二人とも任期満了により、社会教育委員の会議を退任されてございますので、代わりに私から御説明をさせていただきます。

第31期の社会教育委員の会議では、学校と地域が連携した生涯学習事業である地域学校連携活動について中心に話し合いを行ってまいりました。管外視察研修についても、先進的な地域学校協働活動を行っている自治体を中心に視察をしたところでございます。また都市社連協の主催する各種研修会に御参加をいただき、他市の社会教育委員との意見交換を行い、交流を図っていただきました。

最後に「来期の委員の方へ」ということで、皆様宛てに、3点引き継いでいただいた内容を掲載してございますので、お目通しをいただければと思います。

資料7の説明は以上でございます。

笹井議長

ありがとうございます。今の御説明に関連して、第31期の委員だった方で何か補足等がございましたらお願いできればありがたいのですが、いかがでしょうか。前期の委員さんの活動状況ということ。

北澤委員

北澤です。正直、私も1期目で、私自身の考えというところからはなかなか出すことができずに、先輩方の敷いたところで活動についていったというような形になっておりますが、ただ、いろいろな活動をしていく中でやっぱり考えてきたこともいろいろできましたので、そこはまた新たなメンバーの皆さんと一緒に、そこを生かして、今期につきましては積極的に意見を出していきたいなと思っています。以上です。

笹井議長

ありがとうございました。ぜひ今期は遠慮なさらずにお願いしたいと思います。

よろしいでしょうか。こんな形で、前期は、このような活動をされたということであります。

それでは次に行きたいと思いますが、議題の8番目になります。「会議録の承認」でございますが、事務局から御説明をお願いいた

します。

倉澤生涯学習係長 事務局より御説明いたします。資料8を御覧ください。字が小さくて申し訳ございません。

こちらは社会教育委員の会議の会議録ですが、通常の流れとしまして、会議終了後に文字起こしをしたものを委員の皆様にもメールで送信しまして、それぞれ御自身の発言について校正をしていただいたものを次の会議の議題として承認をしていただいてから、会議録の公開、ホームページ等への掲載という流れになっております。

今回は8月に開催した第4回の会議録について31期の委員の皆様にも確認いただいたものを本日、御承認いただければと思い、議題に取り上げさせていただいております。よろしく願いいたします。

笹井議長 今の件につきましても、もし第31期の委員だった方で、何か補足がありましたら、お願いできればと思いますが、いかがですか。よろしいでしょうか。

毎回、こういう形でやるということですね。

倉澤生涯学習係長 はい。

笹井議長 これはデータそのものはオープンに公表されるということですので。

三浦生涯学習課長 議長、補足で。会議録でございますけれども、今、事務局が御説明しましたとおり、会議が終わりまして、ドラフトが上がりましたら、皆様のところにもメールベースで校正の確認をお願いさせていただきます。次回の会議で承認をいただければ、ホームページ等々で、皆様の発言が一言一句、このままアップされる形になりますので、御理解方、お願いいたします。

なお、会議録の校正の中で、ちょっとあの発言は間違っちゃったなというところがありましたら、次回の会議で御発言をいただいて、発言の訂正をしたいという趣旨でおっしゃっていただければ、それに基づいて措置をしていく形になりますので、校正の段階では発言を間違っちゃったから消すことはあまりしないようにしたいと

思っております。御理解方、よろしくお願ひいたします。

私からは以上でございます。

笹井議長

自治体によっては要旨を出す自治体もあるし、名前を消して出す自治体もありますけども、ここは一番厳しいですね。自分の発言は自分で責任を負いなさいみたいな感じで。そういうことで、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

それでは議題の9番目になりますが、会議日程につきまして、事務局から御説明をお願ひしたいと思います。

倉澤生涯学習係長 事務局より御説明いたします。資料9を御覧ください。

こちらは令和5年度の残りの会議等の日程について載せております。11月11日、12月9日の内容につきましては、都市社連協関連の研修会でございますので、もう日程が決定しているものです。

今年度の本日のような会議につきましては、本日を除いて、あと3回、11月、1月、2月に開催を予定しております。11月につきましては、日が迫っていることもあり、会議室等の確保の関係もあるため、仮に11月16日という形で取らせていただいているところです。

基本的に日程等につきましては事務局に一任していただきたいと考えておりますが、委員の皆様の中で、この曜日は絶対に毎回、出席できない等々がございましたら、そちらを考慮させて決めさせていただきたいと思っておりますので、この場で伺えればと思います。

説明は以上です。

笹井議長

ありがとうございました。

今現在、資料9のように予定として日程が決まっているということですけども、今の時点で、これはちょっと個人的に無理だ、出席できないということがあれば教えていただきたいと思います。いかがでしょうか。

小林委員

個人的事情ですが、すみません。小林です。実は来年の7月ぐらいに小金井に戻って来るんですけど、今、単身赴任中で。今日もちよっと戻って来ている状況なんですけど。そうすると、何となく金

曜日とか月曜日のほうが個人的には助かるのはあるんですけども、皆さんの御都合もあるので、そういった場合、例えばですけども、前、児童館審議委員をやらせていただいたときは、実はリモートをWebexでやっていただいたこともございまして、その辺、可能であれば出席率も上がるかなと思っているんですけど。なるべくリアルで出るようにはしたいなと思っておりまして、リアルでしたら金曜とか月曜がいいんですが、ちょっと先生の御都合とかもあると思いますし、その辺は都合のいいところで折り合いたいと思っています。よろしく願いいたします。

笹井議長 要するにハイブリッドという形になってもらえればと。

小林委員 はい。ハイブリッドが許されるのかをぜひ御検討いただければと思います。

笹井議長 課長、その辺は何かありますか。

三浦生涯学習課長 生涯学習課長です。まず市全体のルールですと、ハイブリッドでやるという決め事がなくて、どこかの会議でやっていたとは耳にするところなんですけど、今日この場でというのもなかなか難しいところではあるんですけど、対応できることであれば頑張ってみたいなと思うんですけど、今日この場では。

小林委員 ええ。単なる要望ですので、御検討いただいて無理なら無理と言っていたらいいと思います。

三浦生涯学習課長 ありがとうございます。

小林委員 来年7月になったら、多分、解消すると思うんですけど。そういったところで、すみません。

三浦生涯学習課長 はい。ですので、会議の形態としては、今日、そういう御要望があったというところで受け止めさせていただきます。

笹井議長 ありがとうございます。ほかに日程等に関連して、ほかの委員

の皆さんから、この曜日は絶対駄目だからというのがありましたらお聞きしたいと思います。いかがですか。よろしいですか。

伊藤委員 すみません。伊藤です。火曜日がちょっと動けない日がありまして、あとは午前中は大丈夫なんですけども、火曜日の午前中はちょっと難しい日があります。

笹井議長 午後は大丈夫ということですか。

伊藤委員 火曜は終日、駄目なんですけど。

笹井議長 分かりました。
ありがとうございます。
ということで、日程は、これだけの人数でありますから、全員がそろう日はもともと難しいのかなとは思いますが、適宜、日程調整するときの参考にしていただきたいと思います。

それでは、協議事項の10番目、「その他」とあるんですが、これにつままして何か。はい、どうぞ。

坂野委員 坂野でございます。申し訳ないですが、話を戻して3番の「図書館協議会への出向委員の選任について」ですが、私が立候補をしたいと思えます。私は以前、図書館協議会委員をやってしまして、社会教育委員の会議の議事録をずっと見てきたんですけども、図書館協議会での議論のプロセスで重要なものがそこではほとんど報告されてないことをずっと残念に思っておりまして、もしそれを改善するチャンスがあればということで、図書館協議会委員として出てみようかなと思う次第です。

ですが、私は、今回、社会教育委員は初めてなので、できれば2期目以上の方々に出ていただくのが一番適任かと思えますので、立候補はしますけれども、そういう観点から、2期目以上の方々、いかがでしょうか。きちんと報告していただければよろしいかと思えます。以上です。

笹井議長 分かりました。ということで、事務局で調整をしていただきたいと思います。

三浦生涯学習課長 生涯学習課長です。議題の3番でございまして、今、そういう御意見があつて、2期目以上の方とお話をさせていただきますので、御意向は分かりました。私のほうで対応させていただきたいと思ひます。

笹井議長 ありがとうございます。
そのほかに何かございますでしょうか。はい、北澤委員。

北澤委員 北澤です。それで次回の日程を決めていただきたいんですけども。よろしくお願ひいたします。

倉澤生涯学習係長 事務局です。次回の日程を本日決めていただきたいと思ひます。私のほうで仮と入れさせていただいている、こちらの11月16日木曜日、午前10時からという日程で開催させていただきたいと思ひうのですが、いかがでしょうか。

笹井議長 よろしいですか。

倉澤生涯学習係長 では、こちらで決定させていただきます。本日の次第の一番下の次回日程のところに各自で入れていただければと思ひます。また開催通知等は追つて皆様に送付させていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

笹井議長 よろしくお願ひいたします。
そのほかの議題、もしくは今日全体の議題について、もし何かありましたらいただければと思ひますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは協議事項はこの辺にさせていただいて、続きまして報告事項に移りたいと思ひます。「第37期公民館運営審議会委員の委嘱について」でございまして。よろしくお願ひいたします。

倉澤生涯学習係長 事務局より御説明いたします。資料10、一番最後のページを御覧ください。

資料10として、第37期小金井市公民館運営審議会委員の名簿

を付けさせていただいております。任期は社会教育委員と同じ任期となつてございます。今後、3者合同研修会等で、こちらの委員の方々と顔を合わせる機会もございますので、参考にしていただければと思います。

説明は以上です。

笹井議長

ありがとうございます。

では、最後になりますが、その他の報告事項で何かございますでしょうか。

三浦生涯学習課長 生涯学習課長です。事務局からは特にございません。

笹井議長

ということで、大体1時間ぐらいですね。早過ぎたかな。どうぞ。

小林委員

小林です。生涯学習推進計画は今、4次になっているんですけど、5次の検討はいつ頃から始まるのでしょうか。かつ我々社会教育委員のいわゆる関与の仕方というか、それはどうなっているのかを教えてくださいましたら助かります。

三浦生涯学習課長 生涯学習課長です。たしか7年度までの計画だと考えておりますので、通常ですと、その1年前ぐらいから検討していくことになると思います。一応、計画は進んでまいりますので、7年ですから、7年度末までの計画なので、早ければ来年度から進めていくのかなと思いますけど、まだ具体的には決まっております。

小林委員

いえいえ。大体の工程というか、スケジュール感が分かればいいので。ありがとうございます。

笹井議長

何かほかにもございますか。

小林委員

すみません。あともう一つ。小林です。

研修会の担当だということで、例の3者の。あれはどういう感じで進めていく感じになるのでしょうか。

三浦生涯学習課長 3者合同のですね。

小林委員 はい。さっき予算がないと言っていたやつですけども。

倉澤生涯学習係長 前回の例で言いますと、図書館協議会さんが担当となっていて、しゃいまして、そのときは議長に御講演をいただいて、その後、それぞれに3者が入るようなグループに分けて、生涯学習に関するテーマを決めて、それについて話し合っていて、グループで発表していただく形を取っております。今回も全会議体で委員が改選になっており、初めての方も多くございますので、そういった形を考えておりますが、また御相談させていただきたいと思います。

小林委員 ありがとうございます。

笹井議長 ということで、所定の検討事項は全部終わりましたので、この辺で今日の会議は終わりにしたいと思います。

どうも皆さん、御協力、ありがとうございました。どうぞ今後もよろしく申し上げます。

— 了 —

第4次 小金井市生涯学習推進計画

計画策定にあたって

教育基本法第3条において、生涯学習の理念として「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことができる社会の実現が図られなければならない。」と規定され、生涯学習社会の実現を目指すことが明確化されています。

本計画は、「小金井市基本構想・基本計画」を上位計画とし、その「文化と生涯教育」部門を中心とし、関係する施策を具体的に推進する個別計画です。生涯学習の推進のため、「誰もが生涯学習に親しむ環境づくり」、「地域と共につくる生涯学習」、「生涯学習のネットワークづくり」の3つの方向性を定め、施策を展開しております。

基本理念

本計画では、誰もが生涯学習活動を通じてつながり、笑顔で過ごすことができるまちとなることを目指すと共に、これまで生涯学習活動をできなかった人たちも積極的に学習に参加し、0歳から、生涯にわたって、学び続けられる環境づくりを目指し、次のとおり基本理念を定め、施策を推進します。

学びでつながる笑顔のまち小金井
～さあ、動き出そう！人生100年時代～

計画期間

本計画の期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

令和3年3月 小金井市教育委員会

施策の体系と主な事業

施策の方向性	施策の柱	主な施策
1 誰もが生涯学習に親しむ環境づくり	1-1 0歳から始まる生涯学習	(1) 乳幼児やその保護者等を対象とした講座や体験機会の充実 (2) 子ども・青少年の居場所や体験機会の提供
	1-2 人生100年時代を楽しむ生涯学習の推進 ～子どもから高齢者まで～	(3) 幅広い世代に向けた学習機会の充実 (4) 図書館における学びの推進 (5) 公民館を活用する学びの推進 (6) スポーツ・レクリエーション活動と健康づくりの推進 (7) 高齢者の多様な学習の支援
	1-3 共生社会における生涯学習の推進	(8) 障がい者の生涯学習と交流の推進 (9) 暮らしやすい環境づくりのための学習
	1-4 「新しい日常、新しい生活様式」を踏まえた学びの推進	(10) オンラインを活用した多様な学習機会づくりの推進
2 地域と共につくる生涯学習	2-1 学校・地域が連携した生涯学習活動の推進	(11) 地域と学校の連携による活動 (12) 放課後子ども教室
	2-2 学びの継続と成果の活用の推進	(13) 学習成果の発表・自主的な学びや学びを継続するための取組の推進
	2-3 地域団体や学校との連携による学びの推進	(14) 社会教育関係団体・スポーツ団体等との連携・支援の充実 (15) 大学・NPO法人等との連携
	2-4 郷土の歴史や芸術・文化を親しむ機会の充実	(16) 郷土資源を活用した情報発信及び郷土や文化に親しむ機会の提供
3 生涯学習のネットワークづくり	3-1 支援者の人材育成とコーディネート機能の充実	(17) 地域人材の活用と支援者・リーダーの育成の促進 (18) 生涯学習の市外との広域連携の推進
	3-2 社会教育施設等の活用の推進	(19) 社会教育施設等の活用の継続 (20) 生涯学習センター機能の整備
	3-3 情報発信・相談体制の充実	(21) 情報発信場所・発信方法の充実 (22) 相談体制の充実

主な事業

◆両親学級母性科 ◆両親学級育児科 ◆母親セミナー、乳幼児講座等 ◆父親講座等 ◆ブックスタート

◆家庭教育学級 ◆思春期子育て講座 ◆校庭開放 ◆多世代が参加する講座の開催 ◆学童収穫体験

◆市総合防災訓練 ◆交通安全の推進 ◆消費者団体講師派遣 ◆環境フォーラム・環境講座等の開催

◆図書館資料の提供 ◆団体貸出 ◆学校訪問 ◆講演会、読書会等 ◆参考・地域・行政資料の充実

◆各種講座 ◆野菜づくり講座 ◆市民映画会 ◆成人大学講座 ◆生活日本語教室

◆市民体育祭の実施 ◆スポーツ教室 ◆健康づくりフォローアップ指導 ◆健康講演会

◆シニアスポーツフェスティバル ◆高齢者いきいき活動（各種事業） ◆高齢者農園



◆心身に障がいのある児童・生徒の地域活動促進事業 ◆青年学級（みんなの会） ◆声の広報

◆男女平等教育推進 ◆男女共同参画シンポジウム ◆小金井平和の日記念行事

◆電子書籍サービス ◆こがねいパソコン相談室 ◆消費者講座（WEB講座）

◆地域学校協働活動 ◆コミュニティ・スクール ◆子どもを見守る家（カンガルーのポケット）

◆放課後子ども教室 ◆ボランティアセミナーの開催

◆まなびあい出前講座 ◆こがねい市民講師登録 ◆地域課題解決型学習の推進 ◆利用団体のつどい

◆社会教育団体等への後援の実施 ◆スポーツ関係団体への補助金の交付 ◆消費者団体補助

◆小金井NPO法人連絡会 ◆大学との連携による研修事業の推進 ◆こがねい市民活動まつり

◆市史編さん ◆史跡めぐり ◆郷土芸能保存の公開謝礼 ◆はけの森美術館事業 ◆芸術文化講座の開催

◆青少年のための科学の祭典のボランティア活動 ◆薬物乱用防止啓発活動

◆友好都市関連事業 ◆他自治体との相互利用 ◆大学図書館との連携

◆スポーツ・レクリエーション施設 ◆集会施設 ◆文化施設 ◆図書館 ◆公民館

◆生涯学習情報コーナー（ホームページ） ◆生涯学習情報コーナーの設置

◆文化財関係書籍等の頒布 ◆市報こがねい ◆わたしの便利帳 ◆男女共同参画情報誌の発行

◆サークル案内等 ◆女性総合相談事業 ◆子ども家庭支援センター ◆消費生活相談

施策の方向性

施策の方向性 1 誰もが生涯学習に親しむ環境づくり

- 乳幼児とその保護者を対象とした学習メニューの提供をはじめ、子ども・青少年の居場所や体験機会の提供など、「0歳から始まる生涯学習」を支援します。
- 子どもから高齢者まで、「人生100年時代を楽しむ生涯学習」の環境づくりに向けて、市内関係機関等と連携しながら取り組みます。
- 障がいのある方もない方も、誰もが自分の状況に応じた学習に取り組めるよう、学習と交流及び社会参加の推進を図ります。また、年齢、性、国籍などに関わりなく、互いに人権を理解し、尊重し合える社会の実現に向けて、各種講座や教室、交流機会の充実を図ります。
- ICTを活用しながら多様な学習機会や学習情報を提供するとともに、様々なニーズに合わせた学習相談の場の充実を図るなど、誰もが生涯学習に親しむ環境づくりに向けて取り組みます。

施策の方向性 2 地域と共につくる生涯学習

- 「地域学校協働活動」の実施や「コミュニティ・スクール」の設置といった新たな学校と地域連携の仕組みを活かしながら、小金井市らしい生涯学習活動の展開を図ります。
- 市民一人ひとりがそれぞれの興味・関心に沿った学びを自由に展開するとともに、学びの成果を活かせるよう、発表や活用機会の充実を図ります。
- 地域の社会教育関係団体・スポーツ団体や大学・NPO法人など、地域の豊かな活動を支援するとともに、連携を通じて市民の多様な学習ニーズに応じた学習機会の充実を図ります。
- 地域の郷土文化に関する情報発信の充実を図るとともに、身近に親しむ機会づくりを進めます。

施策の方向性 3 生涯学習のネットワークづくり

- 地域の多様な活動を支える人材育成に向けた支援を行うとともに、活動の活性化に向けた連携など環境整備を図ります。
- 誰もが身近な場所で多様な生涯学習活動を展開できるよう、図書館・公民館・スポーツ施設等の充実を図るとともに、生涯学習情報を集約し発信する等を行う生涯学習センター機能の充実を図ります。
- 生涯学習に関する必要な情報が手軽に入手できるよう、情報発信場所や発信方法を工夫するとともに、関係機関・団体等と連携し、気軽に相談できる体制の充実を図ります。

第4次小金井市生涯学習推進計画 概要版

発行：令和3年3月 編集：小金井市教育委員会 生涯学習課

〒184-8504 東京都小金井市前原町三丁目41-15 第二庁舎7階

TEL 042-387-9879 小金井市HP <https://www.city.koganei.lg.jp/>

第4次小金井市生涯学習推進計画の進捗状況

本計画の進捗を測るにあたり、施策の方向性ごとに以下のとおり指標を設定し、施策が適切に推進されているかの目安としています。

施策の方向性1 誰もが生涯学習に親しむ環境づくり

進捗把握の指標	計画策定時 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	目標 (令和7年度)
直近1年間で生涯学習を実践したことがある市民の割合	32.2%	29.4%	36.4%	40%
図書館の貸出冊数	917,440冊	1,012,188冊	956,024冊	970,000冊
公民館が主催する講座数	124講座	121講座	157講座	139講座

施策の方向性2 地域と共につくる生涯学習

進捗把握の指標	計画策定時 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	目標 (令和7年度)
地域学校協働活動事業の実施校	1校 (令和2年度)	4校	9校	14校
放課後子ども教室の開催回数	837回	623回	1,268回	1,500回
週に1回以上スポーツを実施している市民の割合	52.6%	54.5%	63.2%	65.0%

施策の方向性3 生涯学習のネットワークづくり

進捗把握の指標	計画策定時 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	目標 (令和7年度)
生涯学習に関わる小金井市公式ツイッターのフォロワー数	790件	1,157件	1,472件	950件
社会教育関係団体数	105団体	97団体	103団体	130団体
図書館の登録者数	38,161人	38,414人	38,035人	40,000人
公民館の使用団体数	1,660団体	1,705団体	1,712団体	1,735団体

(案)

資料 4

事 務 連 絡
令和 5 年 1 1 月 日

社会教育委員各位

小金井市社会教育委員の会議
議長 笹井 宏益
(公印省略)

令和 5 年度第 7 回社会教育委員の会議 (三者合同会議) の開催について (通知)

このことについて、下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますよう
ご連絡申し上げます。

記

1 日 時 令和 6 年 1 月 3 1 日 (水) 午後 1 時 3 0 分から午後 3 時

2 場 所 市民会館 (萌え木ホール) 3 階 A 会議室

3 内 容

(1) 講演 「 」

講師：小金井市社会教育委員の会議議長 笹井 宏益 氏

(2) 意見交換 (グループディスカッション)

「 」

【事務局】

生涯学習課生涯学習係 倉澤

電話 042-316-6600

E-mail: k020101@koganei-shi.jp

令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会
第5ブロック研修会について（報告）

日時：令和5年11月11日（土）午後2時～4時30分

場所：三鷹産業プラザ7階

参加市：三鷹市（幹事市）、武蔵野市、府中市、調布市、小金井市、狛江市

本市からの参加者：笹井議長、伊藤委員、小林委員、倉澤（事務局）

内容：

午後1時30分～ 三鷹市市制施行70周年記念動画上映

午後2時～ 開会式

開会の辞 三鷹市生涯学習審議会・社会教育委員会議会議長 田中 雅文氏

開会市挨拶 三鷹市教育委員会教育長 貝ノ瀬 滋氏

主催者挨拶 東京都市町村社会教育委員連絡協議会副会長 笹井 宏益氏

午後2時15分～ 研修会

(1) 基調講演（20分）

テーマ：「地域と学校との新たなパートナーシップ」

講師：日本女子大学名誉教授 田中 雅文氏

(2) 事例発表（20分）

テーマ：「学校3部制」

発表者：三鷹市教育委員会総合教育政策担当部長 松永 透氏

(3) 質疑応答（10分）

(4) グループワーク

テーマ「学校3部制～夜間・休日の学校施設を活用した、地域に開かれた学校づくりの実現について」

意見交換→発表→田中会長による講評

午後4時20分～ 閉会式

次期幹事市挨拶 府中市生涯学習審議会副会長 佐野 洋氏

閉会の辞 三鷹市生涯学習審議会・社会教育委員会議副会長 矢崎喜美子氏

令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会
交流大会・社会教育委員研修会 実施要項

日 時：令和5年12月9日（土）午後1時15分～（受付 午後0時45分から）

場 所：調布市文化会館たづくり くすのきホール

（調布市小島町2-33-1）

主 催：東京都市町村社会教育委員連絡協議会

13:15	<p>交流大会</p> <p>■第1部 式典（15分）</p> <p>開 会 都市社連協副会長 吉田 和夫 （町田市）</p> <p>あいさつ 都市社連協会長 篠崎 光正 （調布市）</p> <p>来賓祝辞 調布市教育委員会教育長 大和田 正治 氏 （一社）全国社会教育委員連合（予定）</p>
13:35	<p>■第2部 各ブロック研修会実施報告（57分）※質疑応答含む</p> <p>第1ブロック幹事 あきる野市</p> <p>第2ブロック幹事 昭島市</p> <p>第3ブロック幹事 八王子市</p> <p>第4ブロック幹事 東久留米市</p> <p>第5ブロック幹事 三鷹市</p> <p>※今年度の統一テーマを受け実施された各ブロック研修会の内容報告</p> <p>※今後、都市社連協で議論したい課題や問題意識などがあればあわせて報告</p>
14:32	休憩（13分）
14:45	<p>■第3部 社会教育委員研修会（95分）</p> <p>○「調布市社会教育計画について」</p> <p>講師 鈴木 眞理（青山学院大学名誉教授）</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登壇者（講師，調布市社会教育委員代表者）及びフロアを含めたパネルディスカッション ・講師による講演等
16:25	来賓祝辞 東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課（予定）
16:30	閉会 都市社連協副会長 笹井 宏益 （小金井市）

懇親会

場 所 : Cafe&Bar Pallas(カフェ&バー パラス)

(調布市小島町2-33-1 調布市文化会館たづくり1F)

費 用 : 懇親会出席希望者による会費制 (@4,730円)

16:30	交流大会 閉会
	休憩・移動
17:00	懇親会 司 会 都市社連協会計 宮下 孝広 (調布市) あいさつ 都市社連協会長 篠崎 光正 (調布市) 乾 杯 ブロック幹事市代表者 (未定)
19:00	閉 会 都市社連協副会長 吉田 和夫 (町田市)

会場案内図



※2019年4月現在

駅前開発工事等により、駅前状況が異なる場合があります。
あらかじめご承知おきのうえ、お気をつけてお越してください。

令和5年度二十歳を祝う会の実施について

令和5年度の二十歳を祝う会は、以下のとおり二部制で行う。

1 日付 令和6年1月8日（月・祝）

2 区分・時間・対象区域（別紙1参照）

	式典等実施時間 (受付開始時間)	学校区
第1部	11:00～12:00 (受付10:30～)	第一中学校区
		緑中学校区
第2部	13:15～14:15 (受付12:45～)	第二中学校区
		東中学校区
		南中学校区

3 場所 小金井 宮地楽器ホール

4 内容 式典、ビデオメッセージ、抽選会ほか

5 対象者 平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれの市民
令和5年4月1日現在の19歳人口 1,179人

6 実行委員会について

式典の内容や、参加者への記念品等については、実行委員会を中心に決定する。

7 過去の実施状況等

令和4年度（対象者数 1,333人、参加者数 718人、参加率 53.9%）

令和3年度（対象者数 1,175人、参加者数 675人、参加率 57.4%）

令和2年度（対象者数 1,295人、※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため式典中止）

令和元年度（対象者数 1,323人、参加者数 722人、参加率 54.6%）

平成30年度（対象者数 1,282人、参加者数 683人、参加率 53.3%）

令和5年度社会教育委員の会議等日程

第32期

月 日	曜日	内 容	時 間	場 所
10/6	金	第5回社会教育委員の会議	10 時～	第五会議室
11/11	土	第5ブロック研修会 ＜ブロック幹事市:三鷹市＞	14 時～ 16 時 30 分	三鷹産業プラザ
11/16	木	第6回社会教育委員の会議	10 時～	801 会議室
11/21(火)～ 22(水)		関東甲信越静社会教育研究大会 栃木大会（北澤委員、國分委員、小林 委員出席）	12 時～	栃木県総合文化セン ター(宇都宮市)ほか
12/9	土	都市社連協交流大会・全体研修会	13 時 15 分～	文化会館たづくり (調布市)
1/31	水	第7回社会教育委員の会議 (三者合同研修会)	13 時 30 分～	市民会館(萌え木ホー ル)A会議室
2/16	金	第8回社会教育委員の会議	10 時～	801 会議室

※令和5年度・令和6年度は東京都市町村社会教育委員連絡協議会の副会長市、
令和7年度は会長市



市 HP 直近の提言
(H19、H25、R 元)